

まちの話題

～私があなたにほれたのはちょうど十九の春でした～

「十九の春世界大会」開催

10月18日・19日 茶花海岸にて

十九の春発祥の地といわれる、この与論島で、「十九の春世界大会」が開催されました。

2日間で20組を超える方が、島内・島外から参加し、カラオケや三味線に合わせてそれぞれの自慢の歌声を披露しました。

また、今後十九の春をPRするイメージガール・イメージボーイとして、山下友梨香さんと、歩夢くんのきょうだい選ばれました。

第1回目大会の“世界一”には、知覧町出身の中村充さんが選ばれました。一緒に大会に参加した応援団の皆さんが見守るなか、与論町長より表彰状が手渡されました。

定額給付金の給付が終了しました

定額給付金につきましては、平成21年4月から申請受付を開始し、平成21年10月27日をもって給付を終了しました。

与論町では、全世帯の99%にあたる2,366世帯が給付を受け、総支給額は8,974万円となりました。

町民のみなさまのご協力をおもて無事給付を終えることができました。ありがとうございました。



▲オープニングを飾った、「いんちきバンド」のメンバー

◀初代チャンピオンの、中村充さん（知覧町出身）と、応援団のみなさん。



～K-1日本チャンピオンが与論島に来た！～

ニコラス ペタス氏空手教室開催

10月23日 福祉センターホールにて

K-1日本チャンピオン、ニコラスペタス氏を招いての空手教室が、新極真会与論道場の主催にて開催されました。教室には子どもから大人まで40名以上の方が、ペタス氏の指導を受けようと集まりました。

「空手には多くの流派があるけれど、そのスピリットはみんな同じ」と話すペタス氏は、なんと与論島と姉妹盟約を結んでいるミコノス島の出身。

およそ1時間、気合と熱気のあふれる会場で、参加者たちは気持ちのよい汗を流しました。



歯を大切に！ “ハチ・マル・ニイ・マル” ～80歳になっても、自分の歯を20本以上保とう！～ 「8020運動」平成21年度表彰者を紹介します！

何でも満足に食べるためには、噛める自分の歯が20本以上必要であることから、80歳において20本の歯を残しましょうという運動です。平成21年度は、9名の方が達成いたしました。これからも丈夫な歯で、健康長寿をめざしてください。おめでとうございます！



▲原田光啓さん（叶）



▲山口シゲさん（那間）



▲町山スミさん（叶）



▲遠山トヨさん（茶花）



▲酒匂トミさん（茶花）



▲西龍二さん（叶）



▲白尾フミさん（朝戸）



▲松村富盛さん（茶花）



▲吉田昭久さん（朝戸）